

# 種継人の会



オープン前に並べられた「娘来た」を使用したスイーツの数々

## 「娘来た」新豆フェアを開催

二月三日、道の駅ひたちおおた多目的スペースで、「娘来た」新豆フェアをいたしました。

種継人の会では、在来種の魅力を伝える活動の一つとして「娘来た」を地域の顔の見える食材として取りあつかつていただけるように、地域のお店に働きかけを行つてきました。その結果、多くのお店で「娘来た」を使用したスイーツなどを作つていただけるようになつてまいりました。今回のイベントは、そのお店の方々と一緒に盛り上げていければという想いで企画、実行しました。

このようないベントも初めてで、どれくらい売れるのかも想像ができず、またそれのお店の営業に支障がないようないベントにしたいなど、試行錯誤しながら準備してきました。お客様が足を運んでくれるのか不安もありましたが、ふたを開けてみると、開店十時前行列ができ、用意したスイーツ等は三十分ほどでほぼ完売してしまいました。買いに来てくれた方々が開店前に並んで頂いているのを見たとき、やつて良かったなという想いでいっぱいになりました。

今回は、いろいろなお店のスイーツの販売だけではなく、このようなお店があることを知つていていたく目的もありましたので、「娘来た」を使って頂いているお店の紹介を種継人の会のウェブサイトに掲載したり、紹介のためのチラシも用意しました。今回は都合で出店できなかつたお店や、レストランのメニュー等で使って頂いているお店もありますので、是非ウェブなどをご参考に、足を運んでみていただければ嬉しく思います。

一つ残念だったのは、思いがけず早々と完売してしまったため、今回のイベントでご購入できなかつた人も多かつたことでした。今回のイベントに関わつてくださつた皆様への感謝とともに、「娘来た」がより多くのお店や生産者、お客様をつなぐ在来種としてより親しまれるような取り組みを考え続けていきたいと思います。ありがとうございました。

(北山弘長)



「メゾン・ケンポク」にて「娘來た」上映会

## 映画「娘來た」完成披露

昨年度から地元のお店に向けての少量契約栽培を始めた「娘來た」。それに伴つてメンバーの武藤さんが映画の撮影を行つてきました。北山さんの畑に通いつめ、ご近所や栽培会のおばあちゃん、お店のオーナーなどへの丁寧なインタビューを重ねて完成。四月六日に鯨ヶ丘の「メゾン・ケンポク」にて上映会を開催しました。会場は畳の大広間。四十名ほどの参加者が集まつて和やかな上映会になりました。続いて四月二十七日には里美地区で地元の方向けの上映会も開催。これからも機会があれば上映会を重ねてゆきたいと考えておりますので、是非お声掛けください。

参加者からは、栽培の様子や、人のつながりによつて種子が受け継がれてゆく様子が分つたとか、関わる人たちの思いに感動した、子供や農業を知らない人向けヴァーチョンも作つて普及してほしい等々、多くの感想や激励の言葉を頂きました。私達としても、今後の活動に向けてたくさんヒントを頂いた上映会になりました。

(布施 大樹)

## いわき昔野菜 フェスティバルに参加

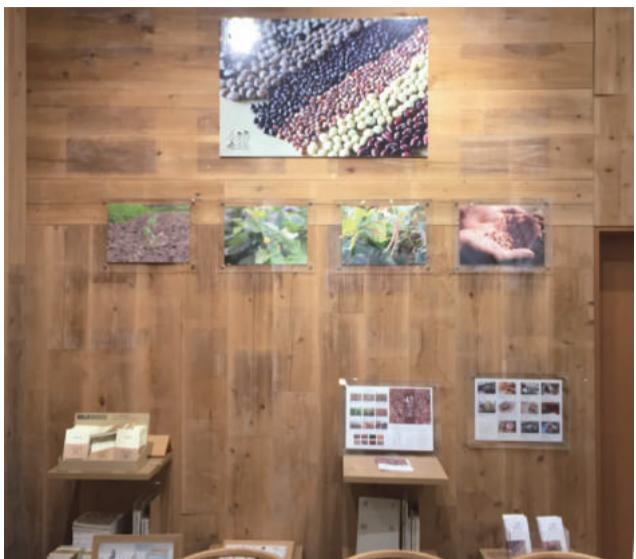
二月十日に福島県いわき市で行われた「第九回いわき昔野菜フェスティバル」に行つてきました。コーディネーターの江頭先生企画で、「アズキ在来種『むすめきた』と『むす

めきたか』が繋ぐ地域交流」で、種継人の会が呼ばれ、現地の方々と対談していました。何が一番驚いたかというと、いわきで作られている「むすめきたか」写真で見ていた時は、同じ小豆を作つてゐるなと思っていたのですが、実物を見て驚きました。いわきの物は、粒が小さく、赤色が大分多い配色でした。一見すると別物の様です。その地域の栽培状況、気候等でその地で変化していく、まさに在来種の姿を見たようでした。また、地元の会社経営者の方が娘來た羊羹の販売を始めました。在来作物を引き継ぐという難しいテーマと向き合つて熱い同志と出会うことができ、また共通する作物や食文化を知ることができ、福島との絆を強く感じた一日になりました。いわきの皆様、ありがとうございました。

(北山 弘長)



## 内原イオン内無印良品にて 活動紹介コーナー開設



無印良品の店舗にて活動紹介コーナーが開設

四月より内原イオン内にあります無印良品の店舗内にて、種継人の会の活動紹介コーナーが開設されました。メンバーでお菓子の工房「caya」オーナーである船串薰さんの紹介と尽力で実現しました。また、お店側のスタッフさんにも、様々な調整や準備に奔走していただき感謝です。グローバルに店舗展開する企業もローカルな活動やプロダクトに注目する時代なのかもしれません。現在は初回の展示として、会の活動と「娘来た」小豆の紹介パネルとリーフレットの展示が行われています。在来作物を知らない若い世代の方々に、地元での活動を知つて頂き、常陸太田に足を運んでもらうきっかけになれば幸いです。内原イオンにお出かけの際は是非お立ち寄りください。

(布施 大樹)

## 箒の伝統工芸展に向けて

まいぶるむでは、代表の布施さんを中心には河合地区で箒を作っていた方を探し、「箒の復元実演」をしていただけます。

昨年十二月に、伝統的な「飾り編み」からスタートして、一月に「めがね」二月には「櫛形」を作りました。

「飾り編み」の復元は、九十二歳になられる加藤さんが実演：出来上がった箒に赤と緑の糸を使い、眼がね糸が見えないの」と言いながらも迷う事なく飾り編みをされていました。この日は箒職人だつた九十一歳のご主人もご一緒に、とても和やかな雰囲気の勉強会となりました。

箒を作るときは、座つて作るイメージがありますが、「めがね箒」を作られていた克己さんは、掘り炬燵を工夫して作業しやすいように利用されていました。八十歳を過ぎても「力強く丁寧」に箒を作られている姿は、とても魅力的でした。

「櫛形箒」は、十一の玉を合わせ一本の竹串に通して作ります。現在農業オペレーターでもある庄司さんの手により最大のポイントとも言える玉を合わせる部分と櫛形の肩の部分が、みると引くとツキリと編み込まれて行き、観ていて引き込まれるものがありました。昔の職人は、一本でも多くの箒を仕上げようと男の人のが編み方、女の人は飾り編みなど仕上げを行なつていたそうです。

当時女のは、完成した箒を背負つて、朝早くから汽車で行商に行つてたんだよと、懐かしそうにお話しされていました。



「櫛形箒」萩谷庄司さん



「めがね箒」萩谷克己さん



「飾り編み」加藤のぶ子さん

## 今年の活動予定

皆さん昔から河合の箒を作っていた職人さん達は、時が過ぎても、箒を作った手さばきは見事なもので感銘を受けました。

これからも布施さんを中心に、半手ともえ・東など河合地区で作られていた箒の完成に向けまだまだ活動中です。

(石川 明美)

今年は秋に梅津会館で常陸太田の伝統工芸展があります。それに向けて、河合の箒の復元作業と並行して元職人さんへの聞き取り調査をまとめた冊子を発行予定です。また、生涯学習センターの主催の「夢塾」から声掛け頂き、里美地区の小学生と箒作りを行うことになりました。幸久小学校に加えて、地元の子供たちと関わる機会が増えます。一方で、箒作りに取り組むメンバーが足りず、最近はくじら屋での販売もままならないのが現状。新たな人材と職人育成が急務です。

また、娘來たは今年も契約栽培を続けますが、小売りの問い合わせが多く寄せられるようになり、オリジナルラベルの開発など生産者の販売支援も実現したいところです。需要は増えていますが、箒とともに高齢化もあって生産者が不足しています。映画ができたこともあり、子供たちや地域の若者とコラボして新たな一步を踏み出せるよう、こちらも模索の年になります。

(布施 大樹)

## 道端の在来作物

普段行き来している道すがら、またはちょっと立ち寄った場所などで目にした在来作物や、それを育む方々を紹介します。

### ちりめんからし菜

里美の地に就農したころ、お手本にしていたじいちゃんがいた。育てる野菜は見事で、ばあちゃんと二人で小さな畑を作りました。直売所に出荷。野良仕事の合間に耕運機のトレーラーに腰かけて、畑を眺めながら旨そうにタバコをくゆらせていた。そんなじいちゃんが大切に育てていたからし菜。春はこいつの塩もみがあれば他のおかずはいんねーなー。と人懐こい笑顔を浮かべて僕におすそ分けしてくれたからし菜は、ほろ苦さの後につんとした辛みが鼻に抜ける春の味。



そのおじいさんもおばあさんも亡くなり翌年の秋、僕が後を引き継いだ畑からおじいさんが愛したからし菜が芽吹いた。このからし菜の種を採り続けること。それは僕にとつて初心を抱き続けること。春になつて力強く立ち上がりつてくる太い花茎を折り取つて作る塩もみと焼き立てのご飯をほおばると、いつもおじいさんの日焼けして深いしわが刻まれたかつこいい笑顔を思い出す。

(布施大樹)

### 《入会募集のお知らせ》

種継人の会は会として継続した、自立的な活動を進めるため、会員会費をお預かりすることで合意しました。入会ご希望の方はお手数をおかけしますが、お近くの会員に会費をお預けいただくか、あるいは下記口座まで会費の納入をお願いいたします。また、今後のご連絡は基本的にメールで、活動の報告はウェブサイトを中心に行っていきたいと考えています。メール連絡へのご理解とご協力も併せてお願い致します。

会員年会費：1,000円

[ゆうちょ銀行]  
種継人の会（タネツギビトノカイ）  
記号：10630 番号：15285671

### 《常陸太田の伝統工芸展》

#### 「河合の簾」

同時開催：太田団扇（雪村うちわ）

9月25日（水）～10月20日（日）

に展示予定しています

会場：

常陸太田市郷土資料館 梅津会館 2F

（常陸太田市西二町 2186）

時間：9時～17時

（入館は16時30分まで）

休館日：月曜日

（祝日の場合は開館し、翌日休館）

入館料：無料